

H26シカ年度 幌別 岩尾別地区における密度操作実験(3年目)案

1. 経緯と方針

- ・仕切柵による捕獲では87頭を捕獲したが、運用方法には改善の余地あり。
- ・岩尾別川河口部では前年と比べ著しく捕獲効率が低下したが、対岸斜面は依然高密度。
- ・幌別川囲いわなでは61頭を捕獲したが周辺にはまだ多数のシカが生息。
- ・岩尾別台地のシカは海岸側に集中的に分布。

- ・岩尾別川河口に集結する群れの捕獲に重点を置く。
- ・岩尾別台地海岸付近に分布するシカを、仕切柵に加え、五湖木道からのSSにより低密度化。
- ・幌別川囲いわなは、対岸側のシカを捕獲するための配置の見直しや餌付け誘引を検討。

2. 平成26シカ年度 捕獲事業内容

仕切柵を用いた大型囲いわな式捕獲

- 期間： 12～4月
- 実施候補地： 岩尾別地区(海岸側ササ地)
- 仕様等： 大面積のササ地を仕切柵で囲い、囲いわなのようにして捕獲。
- 検討事項等： 自動落下式 or 遠隔操作ゲート(バッテリー方式)の導入。仕分・搬出部簡易化。
- 捕獲目標頭数： 約40頭(前年度実績の50%程度)

囲いわなによる捕獲 (再設置2箇所)

- 期間： 12月中に再設置、1月～3月に餌付け・捕獲
- 実施候補地： 幌別川河口(再設置・2年目)、岩尾別川河口(再設置・3年目)
- 仕様等： 自動落下式ゲート(AC電源方式)。壁面を高さ4mとして除雪を省力化。
- 検討事項等： 幌別川河口：見晴橋(距離約500m)付近からの誘引。
岩尾別川河口：流し猟式SSに切り替えるタイミング。
- 捕獲目標頭数： 幌別60頭(前年度実績の70%)
(岩尾別は流し猟式SSと合算して次項に記載)

流し猟式SS(積雪期・岩尾別川河口)

- 期間： 2～3月(1月から餌付け、2月から週1回程度捕獲)
- 実施候補地： 岩尾別ふ化場取り付け通路(約0.6km)
- 検討事項： 囲いわなからSSに切り替えるタイミング
- 捕獲目標頭数： 約45頭(前年度の同所における最大確認頭数の50%、囲いわなの合算)

徒歩による流し猟式SS(積雪期・五湖高架木道) 新規

- 期間： 1～4月(人工的な餌なし、時々雪を掘ってササを露出させ、シカの集合状況に応じて捕獲)
- 実施候補地： 知床五湖高架木道(第2展望台～第3展望台ラインから海側)
- 検討事項： 五湖冬期利用との調整(場所限定で共存可能か)
シャープシューティングになりうるか
- 捕獲目標頭数： 20頭

捕獲目標頭数合計： 165頭

今後の検討課題

- ・幌別地区の西側は、捕獲が幌別川河口の囲いわなのみとなっており、捕獲圧が不足。今後、捕獲圧強化が必要。

表 1-3-1 . 平成 26 シカ年度の幌別 - 岩尾別地区におけるエゾシカ密度操作事業 (案)

手法	8~9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
			スポットライト センサス		*シカ越冬地に移動開始	冬期利用(岩尾別~五湖)	シカ海食台地縁、道路法面に集中	猛禽繁殖期	スポットライト センサス
				冬期道路閉鎖		流水期			4月20日頃 岩尾別ゲートオープン
1. 仕切柵を用いた 巨大囲いわな式 捕獲 (岩尾別)		扉・捕獲部等 改修工事	餌の搬入			餌付け+ 捕獲			
2. 囲いわな (岩尾別河口 要設置) (幌別河口 再設置)		設置交渉	ワナ設計	設置工事	馴致・ 餌付け	餌付け+ 捕獲		ヒグマの冬眠明けをもって捕獲終了	
3 積雪期流し猟式 SS (岩尾別ふ化場通路)			関係機関との調整、協議		馴致・餌付け	餌付け+ 捕獲		ヒグマの冬眠明けをもって捕獲終了	
4. 積雪期徒歩 SS (五湖高架木道)			関係機関との調整、協議			雪掘り+ 捕獲			

図 1-3-2 . 平成 26 シカ年度の幌別 - 岩尾別地区におけるエゾシカ捕獲予定地



仕切り柵を用いた大型囲いわな式捕獲の作業イメージ



図 1-3-3. 仕切り柵を用いた大型囲い柵 設置図